事務局ニュース08-NO.11　2009. 5. 15　埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854　さいたま市大宮区桜木町４－１００５
TEL048-644-1571　FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/　　Eメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727　埼玉県学童保育連絡協議会

①６月６日（土）の県連協総会へ各クラブ１名、
６月７日（日）の研究集会へは多数ご参加ください！
②総会追加議案（『日本の学童ほいく』誌特別還元金の活用案、専従職員の待遇改善案）をお送りします。ご討議をお願いします

■　報　告　事　項

（１）埼玉県庁・少子政策課の動き

１.「施設等整備費補助金」新要綱が作成されました

すでにお知らせしたように、県は新年度、大規模学童保育の解消のために施設整備費の改善を図りました。この程、関連する２つの改正要綱が発表されました。単独施設整備費（1クラブ当たり単価2,112 万円）を盛り込んだ**「県児童厚生施設等整備費補助金交付要綱」**と学校余裕教室の改修から「既存施設の改修」と範囲を広げた**「県放課後児童クラブ施設整備費補助金交付要綱」**です。

「県放課後児童クラブ…交付要綱」には、「既存施設の改修」と並んで、**「倉庫整備の設置を伴う既存施設の改修」**も盛り込まれています。単価は1,000万円、都市部（※平成20年４月１日の時点で人口密度１㎡当たり1,000人以上」の市町村）の場合は1,100万円です。これは、政府が昨年末に決めた第2次補正予算に組み込んだ「安心こども基金」の１つのメニュー「放課後児童クラブ設置促進事業」をこの中に入れ込んだものです。

※２つの要綱は、６月７日開催の研究集会当日発行の『埼玉の学童ほいく　2009年度資料集』に掲載します。

２．県次世代育成支援対策後期行動計画策定協議会の動き

（１）「県民からの意見募集について」結果概要が発表されました

１月から３月にかけて行われた意見募集結果が発表されました。

意見提出者は90件。内容別には、98件（※要望が複数に渡るため）のうち、「学童保育に関すること」55件（56.1%）、「障害児学童保育に関すること」30件（30.6%）でした。

学童保育については、「大規模放課後児童クラブの分割促進」「指導員の待遇改善（労働条件整備）」「研修及び認証制度の充実」「障害児受入に対する加配枠の拡大及加算金の充実」など。障害児学童保育については、「施設の充実（特別支援学校内設置、公共施設開放）」「保護者負担の軽減」「人件費補助の見直し」「指導員待遇の改善」などが寄せられました。

（２）第１分科会（子育て支援）第３回（４月７日）、第４回（４月28日）が開催されました

第3回会議では、委員の森川から「県連協からの意見」を発言しました。

第4回会議では、事務局から「たたき台第３次案」が提示されました（※以下を参照）。

放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実

○すべての小学校区の入所を希望する児童を受け入れることができるよう、放課後児童クラブ（学童クラブ）を整備します。26年度までに各市町村のニーズを踏まえ、●カ所の整備を目指します。
○定員が71人以上の「大規模クラブ」の解消を目指すとともに、「放課後児童クラブ運営基準にできる限り沿った運営を実現するため、定期的に各クラブの運営基準の遵守状況を確認します。その上で、特に指導の必要な事項については、事業の実施主体である市町村に対して改善の余地の有無について個別に確認を行い、放課後における児童の生活環境の向上を図ります。
○学童クラブへの入所を希望する障害児の受入を進めます。
○特別支援学校に通学する児童の健全育成を図るため、特別支援学校の児童で学童クラブへの入所を希望するすべての児童を受け入れられるよう、整備を進めます。
○放課後子ども教室をすべての市町村で実施できるよう、関係機関が連携して必要な人材の確保等を行い、放課後の子ども達の安全で安心できる居場所の確保を目指します。
○学童クラブ指導員の質の向上を図るため、指導員を対象にした研修を実施します。

委員の森川から、①「国に対して施策改善を要求することと併せて、県施策の向上を明記してほしい」　②「研修を強化することには賛成だが、質の確保のためにさらに踏みこんで、研修カリキュラムと認証制度の具体化と県として保育指針・手引き等の作成を」などを要望しました。

（２）厚生労働省等の動き

１．特別支援学校等の障害児放課後事業を、児童福祉法に「放課後等デイサービス」として明記する案が提示されました

障害者自立支援法「改正」案が、３月31日、閣議決定され、現在開会中の通常国会に提出されました。私たちが国に制度化を要望していた特別支援学校等に通う障害児の放課後や夏休みなどの施策について、「放課後等デイサービス」という名称で、児童福祉法に明記する案を提示しました。

■児童福祉法改正案　　※下線は県連協事務局
第六条の二　この法律で、障害児通所支援とは、児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援をいい、障害児通所支援事業とは、障害児通所支援を行う事業をいう。
④この法律で、放課後等デイサービスとは、学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第一条に規定する学校（幼稚園及び大学を除く。）に就学している障害児につき、授業の終了後又は休業日に児童発達支援センターその他の厚生労働省令で定める施設に通わせ、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することをいう。

２．国民生活センターが「学童保育の安全に関する調査研究報告書」を刊行

独立行政法人・国民生活センターは、「学童保育の安全に関する調査研究」を行い、３月５日、調査研究と提言をまとめた報告書を発表しました。調査結果を受けて「２．子どもの安全を守る生活空間（施設・設備）を確保し、人数の適正化を図る」「３．**指導員の配置、雇用条件、研修制度、専門職化にむけての改善等が必要である**」など５つの提言を行っています。
県連協で仕入れました。１冊1,000円（Ａ４判282ページ）でお分けします。

（３）埼玉県学童保育連絡協議会のとりくみ

１．2008年度県連協「学童保育実態調査」がまとまりました

昨年５月に市町村にご協力いただき実施した「学童保育実態調査」がまとまりました。５月１日、市町村へ送付しました。『埼玉の学童ほいく2009年度資料集』に掲載します。

２．市町村へ「大規模学童保育問題についての追跡調査」を行っています

昨年８月に実施した大規模学童保育に関する市町村への調査の追跡調査を行っています。2010年度まで１年を切った今日の時点で、市町村が分割新設をどのように進めようと考えてるのかをお尋ねします。５月15日〆切で依頼しました。結果は追ってお知らせします。

３．４月の代表委員会を開催　４月18日（土）　於さいたま市与野本町ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ

出席＝８市15人
【内容】□報告・交流　①2009年度県予算その後の動き　②大規模学童保育の分割新設の動き
□討議事項　①2009年度県連協総会に向けて　議案書の提案と討議　②「『日本の学童ほいく』誌特別還元金の活用」の提案　③「専従職員の待遇改善」の提案　④その他

４．「学童保育の保育指針」が完成しました

この程、「学童保育の保育指針」が完成しました。これは、指導員の仕事を進める上での手引き・指針となるもので、県連協が県指連協と共同で2004年度から作業を進めてきたものです。６月７日の研究集会に発表する予定です。地域連協、指導員会等で積極的にご活用下さい。

■　県連協からお知らせ・お願い　(^0^)　■

１．第37回県連協総会に向けて追加議案をご討議下さい

４月の代表委員会にて、通常の議案（情勢と課題、2008年度活動のまとめ、2009年度方針案）と併せて、①「『日本の学童ほいく』誌特別還元金の活用」の提案　②「専従職員の待遇改善」の提案をさせていただきました（※別添参照）。
時間がなくて大変恐縮ですが、地域でご討議下さい。

２．第37回県連協総会へ各学童保育から１名以上ご出席下さい（再度）

６月６日（土）17:30開場　於さいたま共済会館（ＪＲ浦和駅下車徒歩10分）
①すべての学童保育からご出席を　　②市町村長に案内を届けて祝電をお願いして下さい。
③地域連協のあるところは、運営委員の選出について討議して下さい

３．第37回研究集会に多数ご参加を（再度）　６月７日（日）　於埼玉県立大学

４．第24回県学童保育指導員基礎講座へご参加を※チラシクラブ１部添付しました

６月17日（水）９：20開場　於さいたま市産業文化センター

５．第34回全国指導員学校北関東会場へご参加を※チラシクラブ２部添付しました

７月５日（日）　９：30開場　　於宇都宮市　全体講義は増山均氏です

６．すべての学童保育から『学童ほいく』誌モニターに登録を！（再度）

７．地域連協・学童保育の総会が終わったら、県連協へ…

①連協（連協のない地域は各学童保育）、指導員会、指導員労組等のそれぞれの2009年度の総会議案書の類を２部お送り下さい。
②新年度の地域連絡協議会の役員、郵便物の発送先等を教えて下さい。
③地域連協のニュース、要望書など運動の資料、指導員の実践記録やクラブだよりなどを適宜、送って下さい。そのために、ニュースなどの配布先として県連協を登録しておいて下さい。

◇　県連協・全国連協等　当面の予定　◇

６月６日（土）　第37回県学童保育連絡協議会総会（於さいたま共済会館）
６月７日（日）　第37回県学童保育研究集会（於埼玉県立大学）
６月17日（水）　第24回県学童保育指導員基礎講座（於さいたま市産業文化センター）
７月５日（日）　第34回全国学童保育指導員学校・北関東会場（於宇都宮市）

７月24～26日　第51回自治体学校（於大宮ソニックシティ、県連協として実行委員会参加）
10月24日（土）～25日（日）第44回全国学童保育研究集会 in 滋賀県大津市